

6 市場事業

(1) 事業数

平成28年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、前年度と同数となっている。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は52万8,683tで、前年度に比べ3万1,621t(5.6%)減少している。その内訳は、青果物が18万2,355t、水産物が32万4,031t、食肉・鶏卵・その他が2万2,297tとなっている。前年度に比べ食肉・鶏卵・その他が587t(2.7%)増加し、青果物が9,255t(4.8%)、水産物が2万2,953t(6.6%)それぞれ減少している。

年間売上高は2,172億39百万円で、前年度に比べ32億17百万円(1.5%)減少している。その内訳は、青果物が483億18百万円、水産物が1,373億16百万円、食肉・鶏卵・その他が316億5百万円で、前年度に比べ青果物が3億円(0.6%)、水産物が25億77百万円(1.8%)、食肉・鶏卵・その他が3億40百万円(1.1%)それぞれ減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者15社、仲卸業者150社、売買参加人が1,537人、関連事業者が40人となっており、前年度に比べ仲卸業者が105社増加している。

第1表 利用状況の推移

年 度		24		25		26		27		28		対前年度比較	
		24	構成比 (%)	25	構成比 (%)	26	構成比 (%)	27 a	構成比 (%)	28 b	構成比 (%)	b - a c	(c/a) × 100%
項 目													
取 扱 高 (t)	青 果 物	207,737	45.6	214,392	45.6	207,998	36.2	191,610	34.2	182,355	34.5	▲9,255	▲4.8
	水 産 物	223,957	49.2	233,649	49.7	344,731	60.0	346,984	61.9	324,031	61.3	▲22,953	▲6.6
	食肉・鶏卵・その他	23,416	5.1	22,502	4.8	21,852	3.8	21,710	3.9	22,297	4.2	587	2.7
	計	455,110	100.0	470,543	100.0	574,581	100.0	560,304	100.0	528,683	100.0	▲31,621	▲5.6
売 上 高 (百万円)	青 果 物	46,820	26.2	49,521	26.3	49,038	23.2	48,618	22.1	48,318	22.2	▲300	▲0.6
	水 産 物	107,202	59.9	111,617	59.3	131,861	62.5	139,893	63.5	137,316	63.2	▲2,577	▲1.8
	食肉・鶏卵・その他	24,875	13.9	27,178	14.4	30,079	14.3	31,945	14.5	31,605	14.5	▲340	▲1.1
	計	178,897	100.0	188,316	100.0	210,978	100.0	220,456	100.0	217,239	100.0	▲3,217	▲1.5
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	15	—	15	—	15	—	15	—	15	—	0	0.0
	仲 卸 業 者 (社)	46	—	46	—	45	—	45	—	150	—	105	233.3
	売 買 参 加 人 (人)	1,685	—	1,645	—	1,623	—	1,532	—	1,537	—	5	0.3
	関 連 事 業 者 (人)	47	—	47	—	40	—	41	—	40	—	▲1	▲2.4

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は28億11百万円で、前年度に比べ1億38百万円(4.7%)減少しており、総費用は22億74百万円で、前年度に比べ49百万円(2.1%)減少している。この結果、収支差引では5億37百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が90百万円(14.3%)減少している。

また、資本的収支における収入は9億84百万円で、前年度に比べ10億21百万円(50.9%)減少しており、支出は15億52百万円で、前年度に比べ29億4百万円(65.2%)減少している。この結果、収支差引では5億68百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が18億83百万円(76.8%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は31百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は9百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が2百万円(31.8%)増加している。

なお、収益的収支比率は85.8%で、前年度に比べ4.1ポイント低下している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度					対前年度比較	
		24	25	26	27	28	b - a	(c/a) ×100
					a	b	c	
収 益 的 収 支	総 収 益 A	2,586	2,523	2,779	2,950	2,811	▲138	▲4.7
	営 業 収 益	1,574	1,686	1,713	1,743	1,827	84	4.8
	う ち							
	料 金 収 入	1,560	1,672	1,700	1,732	1,815	83	4.8
	受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—
	そ の 他	15	13	13	11	12	1	10.0
	営 業 外 収 益	1,012	837	1,066	1,206	984	▲222	▲18.4
	う ち 他 会 計 繰 入 金	535	300	643	636	459	▲177	▲27.8
	総 費 用 B	1,956	1,895	2,122	2,323	2,274	▲49	▲2.1
	営 業 費 用	1,657	1,639	1,763	2,031	2,045	15	0.7
う ち 職 員 給 与 費	369	352	350	357	362	5	1.4	
営 業 外 費 用	299	257	360	292	229	▲63	▲21.6	
う ち 支 払 利 息	271	241	227	228	203	▲25	▲10.9	
収 支 差 引 (A-B) C	630	627	656	627	537	▲90	▲14.3	
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入 D	2,720	3,380	3,454	2,005	984	▲1,021	▲50.9
	地 方 債	990	1,759	2,871	752	492	▲261	▲34.6
	他 会 計 繰 入 金	561	471	455	465	489	24	5.3
	工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	—
	国 ・ 県 補 助 金	1,167	1,151	128	787	0	▲787	皆減
	そ の 他	2	0	0	0	2	2	皆増
	資 本 的 支 出 E	3,795	4,198	2,268	4,456	1,552	▲2,904	▲65.2
	建 設 改 良 費	2,291	3,208	1,246	3,484	538	▲2,947	▲84.6
	地 方 債 償 還 金 e	1,471	979	1,020	957	1,001	44	4.6
	そ の 他	32	11	3	14	13	▲2	▲10.9
収 支 差 引 (D-E) F	▲1,074	▲818	1,186	▲2,451	▲568	1,883	▲76.8	
収 支 再 差 引 (C+F) G	▲445	▲191	1,842	▲1,825	▲31	1,794	▲98.3	
積 立 金 H	0	0	0	0	0	0	0.0	
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	659	215	24	1,865	41	▲1,825	▲97.8	
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	—	
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	235	24	1,866	41	10	▲31	▲76.1	
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	209	15	1,861	34	0	▲33	▲98.9	
実 質 収 支 (K-L)	26	8	4	7	9	2	31.8	
う ち								
黒 字	26	8	4	7	9	2	31.8	
赤 字	0	0	0	0	0	0	—	
職 員 数	47	47	46	47	47	0	0.0	
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	75.5	87.8	88.4	89.9	85.8	▲ 4.1	—	